

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名：地域高規格道路 茂原・一宮・大原道路 一般国道409号茂原一宮道路	事業区分：一般国道	事業主体：千葉県		
起終点：自：千葉県長生郡長南町千田 至：千葉県茂原市三ヶ谷		延長：7.2km		
事業概要：一般国道409号茂原一宮道路は、地域高規格道路「茂原・一宮・大原道路」の一部を構成する道路であり、渋滞緩和、地域の活性化等を目的とし長生郡長南町千田～茂原市三ヶ谷までの延長約7.2kmを整備するものである。				
H12年度事業化	H5年度都市計画決定 (長南町千田～茂原長南IC)	H13年度用地着手		
H14年度工事着手				
全体事業費	約152億円	事業進捗率		
計画交通量	9,300～13,100台/日	約45%		
供用済延長	0.7km			
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 2.4	総費用 (残事業/事業全体) 67/147億円 (事業費：64/143億円) (維持管理費：3.5/3.8億円)	総便益 (残事業/事業全体) 161/196億円 (走行時間短縮便益：124/163億円) (走行経費減少便益：23/18億円) (交通事故減少便益：14/15億円)	基準年：平成26年
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.2～1.5(交通量±10%) 事業費：B/C=1.3～1.4(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.2～1.5(事業期間±20%) (残事業) 交通量：B/C=2.2～2.7(交通量±10%) 事業費：B/C=2.2～2.6(事業費±10%) 事業期間：B/C=2.2～2.6(事業期間±20%)				
事業の効果等 ・現道の主要渋滞ポイント等における慢性的な渋滞緩和に寄与する ・現道の交通量が減少することにより、交通事故の減少に寄与する ・医療圏の拡大や三次救急医療機関へのアクセス時間の短縮に寄与する ・九十九里海岸や南房総等の観光地へのアクセス時間の短縮や周遊性の向上に寄与する				
関係する地方公共団体等の意見 ・地元市町村で構成される整備促進期成同盟会からは、毎年要望を受けており(H26.11)、また、H26年10月に国土交通省、財務省等への要望活動も行っている。				
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・圏央道の東金JCT～木更津東IC間約43kmが平成25年4月に供用し、茂原長南ICに接続する当該道路も圏央道の開通に併せて、0.7km区間の部分供用をしている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約65%、事業進捗率約45%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・残る用地の取得を継続しており、県道茂原大多喜線までの約4km区間については、平成31年度までの開通を目標に優先的に整備を進めていく。 ・優先供用を図る4km区間のうち、長南町区間については用地取得が完了していることから、町道との接続を追加し、早期の整備効果発現を目指していく。				
施設の構造や工法の変更等 ・地域高規格の構造要件の見直し等により、道路構造規格変更等を行い、総コストの縮減を図った。				
対応方針：事業継続				
対応方針決定の理由 ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。